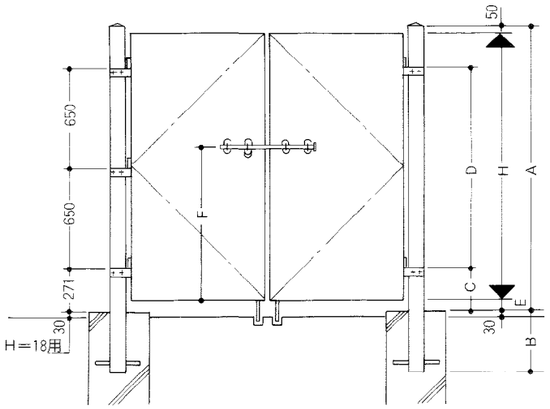
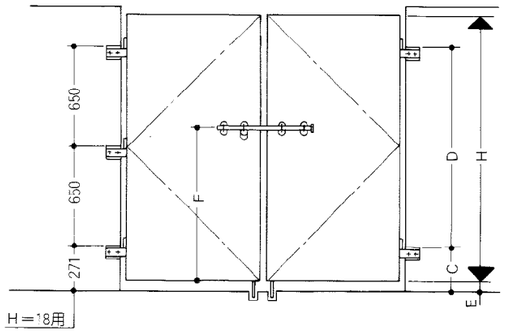
新日軽 大型門扉取付説明書

■門柱納まり



■固定式直付納まり



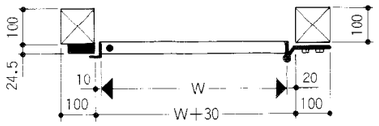
■寸法表

区分	呼称	H	A	B	C	D	E	F
大型門扉 A型	H=12	1,130	1,250	300	221	800	70	684
	H=15	1,430	1,550	400	271	1,000	70	834
	H=18	1,730	1,850	400	271	650×2	70	984
大型門扉 B型	H=12	1,140	1,250	300	221	800	60	595
	H=15	1,440	1,550	400	271	1,000	60	745
	H=18	1,740	1,850	400	271	650×2	60	895

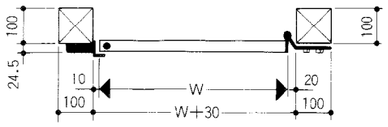
※H=18のみヒンジ3点吊りです。

■門柱納まり

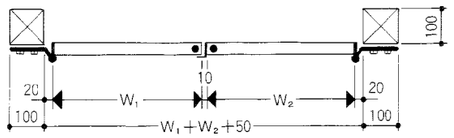
■片開き(内開き)



■片開き(外開き)

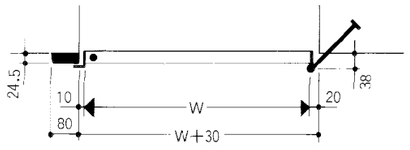


■両開き

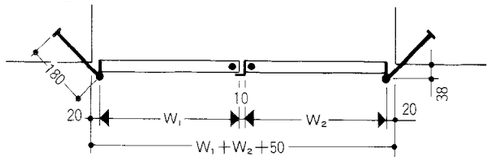


■固定式直付納まり

■片開き



■両開き



※門扉内●印は、落し棒取付け位置です。

■施工上の注意事項

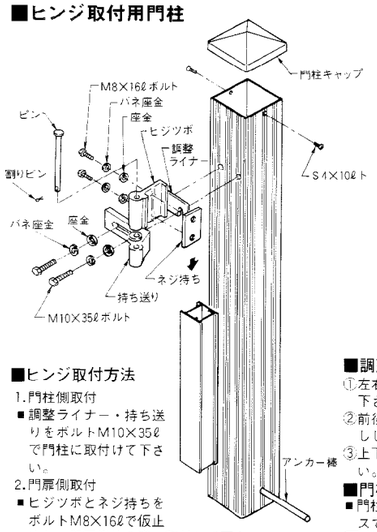
新日軽のアルミ製品はJISの表面処理規定を十分クリヤーした製品をお届けしていますが、取扱いによっては異状腐食をおこし思わぬトラブルとなりますので、施工にあたっては次のような点を注意してください。

1. モルタル用に海砂を使用されますと、塩分が多量に含まれていますから腐食の原因になりますのでその使用を避けていただくか、十分水洗いしたものを使用してください。
2. モルタルやコンクリートの抽出液が工事中にアルミ製品の表面を流れないように注意してください。
   抽出液は強アルカリ性で、しみやむら等の外観不良や腐食の原因になります。
3. モルタルやコンクリートの急結剤は腐食の発生や促進作用があるのでその使用を避けていただくか、塩化カルシュウムや塩素系の化合物・硅酸ナトリウム等の入っていないものを使用してください。
4. 施工時にアルミ製品の表面に付着したモルタルやコンクリート等は速やかに清掃してください。また、表面にキズをつけますと腐食しやすくなりますので取扱いには十分注意してください。
5. アルミ製品と鋼板やラス等の異種金属が接触しないようにしてください。
   接触する場合にはビニールテープ等を貼るか塗料等で絶縁処理をしてください。

門扉部品取付図

取説番号 ME-118

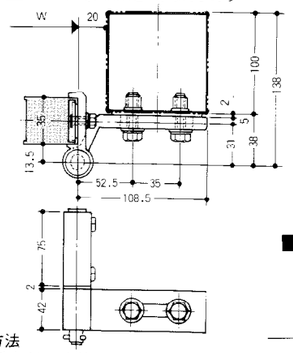
■ヒンジ取付用門柱



■ヒンジ取付方法

1. 門柱側取付
   - 調整ライナー・持ち送りをボルトM10×35ℓで門柱に取付けて下さい。
2. 門扉側取付
   - ヒジツボとネジ持ちをボルトM8×16ℓで仮止めし、門扉縦枠の溝に取付けて下さい。
   - ヒンジピンを、ヒジツボと持ち送りに図のように通し、割ピンを取付けて下さい。

■ヒンジ〔内開き用取付け〕



■調整方法

①左右調整巾(±5mm)持ち送りで行なって下さい。
②前後調整巾2~4mm調整ライナーを抜き差ししく行なって下さい。
③上下調整、門扉縦枠の溝で行なって下さい。

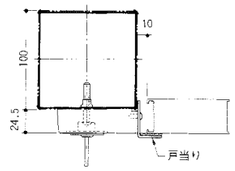
■門柱キャップ

- 門柱にキャップをかぶせ、図のようにビスで取付けて下さい。

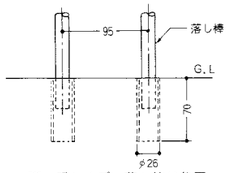
■アンカー棒

- 門柱下端の孔に、アンカー棒を差し込んで下さい。

■戸当り〔外開き用取付け〕

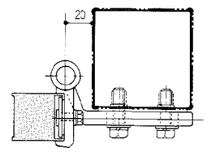


■落し受パイプ



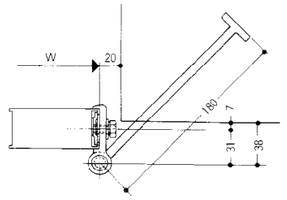
落し受パイプは落し棒の位置に合せ、埋込んで下さい。

■ヒンジ〔外開き用取付け〕

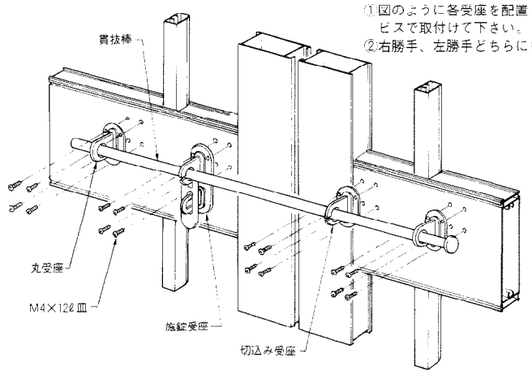


ヒンジピンが門扉の外側に向くようにヒンジツボを取付け、持ち送りも外側に向くように取付けると外開きになります。

■直付固定式ヒンジ

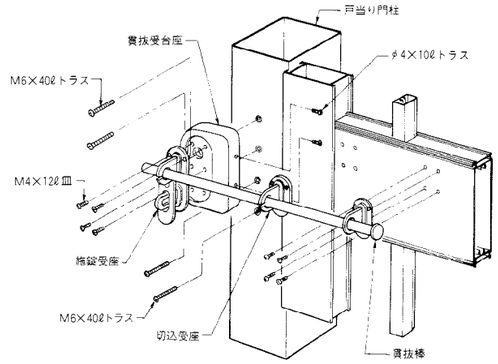


■貫抜錠〔両開き〕



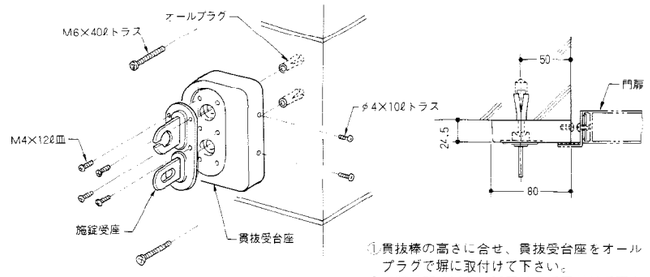
①図のように各受座を配置し、M4×12ℓ皿ビスで取付けて下さい。
②右勝手、左勝手どちらにも取付可能です。

■貫抜錠〔片開き〕



①戸当り門柱へ、貫抜受台座をM6×40ℓトラスビスで取付けます。
取付高さは貫抜棒の高さに合せて下さい。
②戸当り門柱の残った穴にはM6×40ℓトラスビスでメクラセンをして下さい。
③図のように各受座を配置し、M4×12ℓ皿ビスで取付けて下さい。

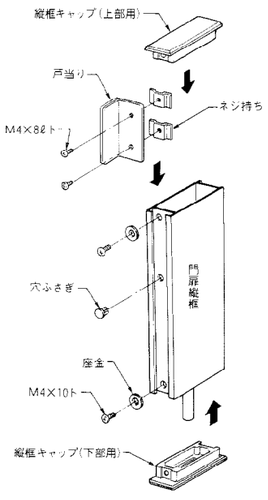
■貫抜受台座の取付〔直付・片開き用〕



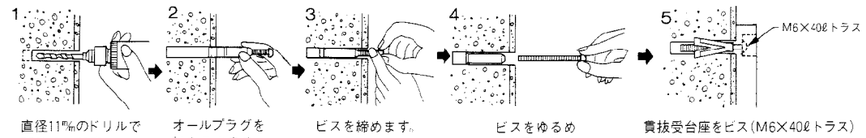
①貫抜棒の高さに合せ、貫抜受台座をオールプラグで塀に取付けて下さい。
②施錠受座をM4×12ℓ皿ビスで取付けて下さい。

■戸当り・縦框キャップ

①戸当りとネジ持ちを仮り止めし、門扉縦框の溝へスライドし取付けて下さい。
②片開き(外開き)の場合のみ、貫抜受台座へ戸当りを取付けて下さい。
③縦框キャップを嵌め、側面から座金・ビスで取付けて下さい。
④縦框の穴へ、穴ふさぎを押し込んで下さい。



■プラグの施工方法



1. 直径11mmのドリルで穴をあけます。
2. オールプラグを打ちこみます。
3. ビスを締めます。
4. ビスをゆるめ抜き取ります。
5. 貫抜受台座をビス(M6×40ℓトラス)で締め付けます。